

札幌社保協 FAXニュース

2011年 9月 1日(木)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番は、
9月29日(木)です

「社会保障と税の一体改革」とたたかう力に 9.11道社保学校に参加しましょう

北海道社保学校は、野田新政権が発足して以降の北海道では大きな学習会となります。野田新首相は消費税増税推進、原発容認、大連立推進、沖縄新基地推進派として知られ、菅内閣以上に財界・アメリカの意向に沿った「構造改革」を推し進める可能性があります。

秋からのたたかいを進めていく上では、学習こそ大きな力です。社保学校で大いに学びましょう。社保学校は9月11日(日)9:45～、札幌市の「かでる2・7」を会場に開催します(参加費1,500円)。

二宮厚美神戸大学教授の講演の主な内容(予定)

はじめに 3.11後の日本と野田新政権の位置

[1] 3.11が私たちに問いかけたこと

1. 人間的生存の自然的・社会的条件の根こそぎ破壊
2. 3.11後の憲法を暮らしに生かした新福祉国家視点
 - a. 雇用・就労保障の視点
 - b. 「揺りかごから墓場まで」の所得保障
 - c. 保育・教育・医療・介護・保健サービスの地域的保障
 - d. 住宅を基本にした生活空間保障
 - e. 自然環境保障視点にたった復旧・復興
3. 生存権のナショナル・ミニマム保障と住民自治視点

[2] 新自由主義型復興構想か新福祉国家型再生かの対決軸

1. グローバル化に対応した新自由主義型復興構想の枠組み(菅政権が残したもの)
2. 新たな野田政権で社会保障に問われる「社会保障・税一体改革」
 - a. 「一体改革」の最大のネライは消費税増税にある
 - b. 消費税増税で社会保障が充実する見通しはまったくない
 - c. 「消費税=社会保障目的税」化によって、社会保障理念・制度に変質が起こる
 - d. 逆進的な消費税を社会保障・福祉にまわす矛盾から生まれる新たな措置
3. 社会保障財源のあり方と福祉国家型財政への転換

社会保障充実に向けた二正面作戦

- ①新自由主義派の「小さな政府」論に対抗して増税の必要性を説く
- ②格差社会化に基盤をおいた過剰資金に目をつけた増税・増収策に向かう

おわりに 3.11後の復興課題と社会保障充実とを統一して追求する大運動



札幌社保協からの
参加費助成

所属団体・労組などから社保学校参加費等への助成がない場合、参加費500円分の助成がありますので、ご相談ください。

消費税を財源としない最低保障年金を

年金者組合
札幌支部協



年金者組合札幌支部協議会主催の年金者大学が8/25に開催され、組合員など64人が参加。年金者組合中央本部の久昌以明氏が講師に「最低保障年金と財源問題」のテーマで学習しました。

久昌氏は年金者組合の年金パンフも使いながら、政府の「年金改革」案について説明。支給開始年齢引き上げやマクロ経済スライド、年金財源に消費税を充てることを強く批判。大企業に適切な負担と賃上げ・雇用の安定で税収増と消費拡大を図るサイクルへの転換を述べました。